

1. 題材名 リズムにのって あそぼう

教材：「てをたたきましょう」「ぶんぶんぶん」「しろくまのジェンカ」
「ボディーパーカッションをつくろう」

2. 題材の目標

- ・音楽にあわせて歌ったり、リズムを表現したりして遊んだりする活動を楽しむ。
【音楽への関心・意欲・態度】
- ・拍の流れを感じ取り、リズムの打ち方や身体表現を工夫する。
【音楽的な感受や表現の工夫】
- ・拍の流れにのって歌ったり、身体表現をしたりすることができる。
【表現の技能】
- ・拍の流れやリズムパターンを感じ取って聴く。
【鑑賞の能力】

3. 指導にあたって

(1) 教材観

本題材では、低学年の指導の重点であるリズムに対する感覚や表現の基礎を育てるために設定したものである。リズムフレーズを感じ取ったり、拍の流れに乗って「タン」や「タタ」のリズム表現に親しんだりするために、楽しく手拍子や身体表現などができるように教材を選択した。「てをたたきましょう」「ぶんぶんぶん」は、どちらも歌詞にあわせた身体表現をしたり、手足を使った簡単なリズム打ちを繰り返したりして、楽しく活動できる。

鑑賞教材の、「しろくまのジェンカ」は、タンウンタンウンタンウンのリズムフレーズを踊りや身体表現を自由に楽しく活動できる曲である。

また、グループでのボディーパーカッションづくりでは、リズムフレーズを組み合わせる自由につくって表現する。これはリズム遊びの発展的な学習につながると思われる。

(2) 児童観

子どもたちは、入学してから2ヶ月あまり歌やカスタネット遊びなど楽しく活動してきた。

朝の会では、今月のうたとクラスできめた歌と毎日2曲歌っている。歌に合わせて手拍子を打ったり、自由に踊ったりと自然に曲に乗って身体表現をすることができる。日常に聞こえてくる音楽を口ずさんだり、手や足でリズムを刻んだりする児童がとも多い。

4月から歌に合わせて身体を動かす活動を多く取り入れている。「ぞうさんのさんぼ」や「てとてであいさつ」では歌詞に合わせた動作をつけ歌の終わりにじゃんけんをして遊んでいる。だんだん回数を重ねていくうちに、自然とじゃんけんのかけ声が音楽に合わせてできるようになった。

音楽の時間には、カスタネットを使って簡単なリズム打ちに親しんできた。タンタンウンのリズムに合わせて、友だちの名前を呼んだり返事をしたり毎時間の最初にくり返した。「名前のお文字によってタンタタタンだね」などと、言葉のリズムを意識しながら叩く児童も見られた。

(3) 指導観

これまでの学習を通して、簡単なリズムパターンは手拍子やカスタネットで演奏することができるようになってきている。低学年の児童にとって身体を動かすことで音楽を全身で感得させることが重要なことと考える。本題材では様々な教材を表現、鑑賞することによって子どもたちが簡単なリズムパターンの拍の流れをつかみ、身体全体でつくって表現する活動を展開したい。そして、友だちと互いに教えあう活動をすることによって、多様な表現のおもしろさや、リズムを通してコミュニケーションする楽しさを感じ取らせたい。まとめの発表会を開き、グループで工夫した作品を表現したり、友だちの演奏を聴き合ったりする中から表現の多様性に気づかせたい。

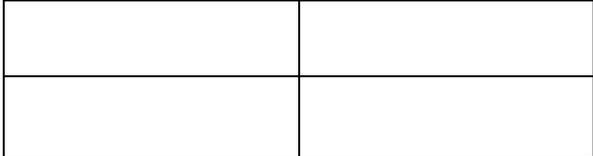
音楽の教材で学んだことを日常の遊びのなかでも取り入れて、よりリズムに親しめるようにしたいと考える。身近な言葉を、タンタンウンのリズムフレーズに乗せて表現させたり、簡単なリズムフレーズをさまざまな身体の部分で表現させたりしてゲーム感覚でリズムに親しむ活動をしたいと思っている。

4. 学習指導計画（総時数 8 時間）

次	ねらい	学習活動	評価規準と評価方法
一次 (3)	・リズムフレーズを感じ取って、身体表現して楽しむ。	・「てをたたきましょう」の範唱に合わせて歌ったり、4分音符・8分音符・4分休符を使った基本のリズムをリズム唱したり、リズム打ちしたりする。(1)	・音楽に合わせて歌ったり、拍の流れにのってリズム打ちをしたりしようとしている。【音楽への関心・意欲・態度】 《活動の様子の観察》
		・「ぶんぶんぶん」の範唱に合わせて歌ったり、リズムフレーズをグループごとや一人ずつで打ったりする。(1)	・歌に合わせてリズムを感じ取って、手拍子をしたりカスタネットをたたいたりしている。【音楽的な感受や表現の工夫】《活動の様子の観察》
		・リズム遊びを通して、4分音符・8分音符・4分休符を感じたり、さまざまな身体表現をしたりする。(1)	・リズム遊びを通して、様々なリズムの違いやリズム表現に気づき演奏している。【表現の技能】《演奏の聴取》
二次 (1)	・拍の流れを感じ取って、聴いたり表現したりする。	「しろくまのジェンカ」を身体表現しながら曲の気分を聴き取る。(1)	・音楽に合わせて、手拍子を打ったりステップをふんだりしながら曲の気分を聴いている。【鑑賞の能力】《身体反応や表情の観察》
三次 (4)	・リズムフレーズを組み合わせて、グループでボディパーカッションを楽しむ。	・リズムカードを作り、2人でリズム作りをして楽しむ。(1)	・リズムカードを楽しみながら作り、自分たちでリズムカードを組み合わせている。【音楽への関心・意欲・態度】《活動の様子の観察》
		・リズムカードを使って、グループでボディパーカッションを考え、作る。(本時)	・拍の流れに合わせてリズムを工夫して作っている。【音楽的な感受や表現の工夫】《活動の様子の観察》
		・考えたボディパーカッションをグループで身体表現できるように練習する。(1)	・リズムフレーズに合った身体表現をしている。【表現の技能】《活動の様子の観察》
		・自分たちで作ったボディパーカッションをグループごとに発表する。友だちの発表を聴いて、工夫したことやよさを受け止める。(1)	・グループでつくったボディパーカッションをリズムに合わせて演奏している。【表現の技能】《発表の様子、ワークシート》 ・友だちの演奏のよさを感じながら聴いている。【鑑賞の能力】《ワークシート》

5. 本時の学習（第3次2時）

- (1) ねらい 組み合わせたリズムフレーズを拍の流れに合わせて、リズム表現をする。
- (2) 準備 教師：CD、模造紙（各グループ1枚）、 児童：リズムカード
- (3) 展開

配時	児童の活動と意識の流れ	支援(☆)・評価(◎)
5	1. リズム遊びをしたり、既習曲を歌ったりする。 「すてきな友だち」 「じゃんけんぽん」 ・まねっこリズム	☆まねっこリズムでは、本時で学習する身体表現につながるようなリズム表現にする。
5	2. 本時の課題をつかむ。 リズムカードをくみあわせてボディパーカッションをつくろう！ このまえじぶんでつくったカードをみんなできくみあわせてみよう！ どのリズムができるかな？ どのカードつかおうかなあ？	☆曲作りがしやすいように、手と足と休みのカードを組み合わせて作るようにさせる。 ☆曲の終わりはポーズを入れるように促す。
25	3. グループに分かれて、リズムカードを組み合わせる。 まずは、1人2個ずつカードを選んで組み合わせよう。  <ul style="list-style-type: none"> ・リズムはいいかみんなで調べる。 →タン・タタ・ウンで歌ったり、手拍子で演奏したりしてみる。 ・むずかしいところはないかな？ →カードを変えてみよう！ ・足のカードは、足ぶみにしようかな？ひざにしようかな？太ももにしようかな？ →足ぶみ・ひざ・太ももで試してみて決める。 ・最後のポーズはどうしよう？ →かっこよく手をあげよう！ →かけ声をいれてみよう！ 	☆4拍子4小節の曲が作れるように、枠をあたえ組み合わせられるように準備する。 ☆2小節目の最後の拍は、おやすみカードを使うと演奏しやすいことを促す。 ◎拍の流れに合わせてリズム表現を工夫している。【音楽的な感受や表現の工夫】 《活動の様子を観察》
10	4. ふり返りをする。 ・学習をふり返って感想を発表して次時へつなげる。 みんなでかんがえてつくったよ。 つづけて たたくとむずかしいよ。 もっとじょうずになるように れんしゅうしよう！ さいごをかっこよくしたいな。 <u>こんどは、きょうつくったきよくのれんしゅうをしよう！</u>	☆次時の活動の見通しを持たせる。